

<No1 : 法規>

次の a ～ e の文は、測量法(昭和 24 年法律第 188 号)の一部を抜粋したものである。

～ に入る語句の組合せとして最も適当なものはどれか。次の中から選べ。

- a. 技術者として基本測量又は公共測量に従事する者は、第 49 条の規定に従い登録された 又は でなければならない。
- b. は、 の作製した計画に従い測量に従事する。
- c. この法律において「測量作業機関」とは、 の指示又は委託を受けて測量作業を実施する者をいう。
- d. 基本測量以外の測量を実施しようとする者は、 の承認を得て、基本測量の測量標を使用することができる。
- e. 基本測量の測量成果を使用して基本測量以外の測量を実施しようとする者は、国土交通省令で定めるところにより、あらかじめ、 の承認を得なければならない。

	ア	イ	ウ	エ	オ
1.	測量士	測量士補	測量計画機関	都道府県知事	国土地理院の長
2.	測量士補	測量士	測量計画機関	国土地理院の長	国土交通大臣
3.	測量士	測量士補	測量士	国土地理院の長	国土地理院の長
4.	測量士補	測量士	測量士	都道府県知事	国土交通大臣
5.	測量士	測量士補	測量計画機関	国土地理院の長	国土地理院の長

<No2：法規>

次の文は、公共測量における現地での作業について述べたものである。明らかに間違っているものはどれか。次の中から選べ。

1. 道路上で水準測量を実施するときに、交通量が少なく交通の妨害となるおそれはないと思われたが、あらかじめ所轄警察署長に道路使用許可申請書を提出し、許可を受けて水準測量を行った。
2. 基準点の設置完了後に、使用しなかった材料を撤去するとともに、作業区域の清掃を行った。
3. 測量計画機関から個人が特定できる情報を記載した資料を貸与されたことから、紛失しないよう厳重な管理体制の下で作業を行った。
4. 地形図作成のために設置した対空標識は、空中写真の撮影完了後、作業地周辺の住民や周辺環境に影響がないため、そのまま残しておいた。
5. 地形測量の現地調査で公有又は私有の土地に立ち入る必要があったので、測量計画機関が発行する身分を示す証明書を携帯した。

<No3 : 法規>

次の文は、測量を行う上での位置の表示について述べたものである。ア ～ オ に入る語句の組合せとして最も適当なものはどれか。次の中から選べ。

測量法では、基本測量及び公共測量については、位置を ア 及び平均海面からの高さで表示するが、場合によっては イ など表示することができるとされている。GPS 測量機による測量では、 イ による基線ベクトル、座標値を求めることができる。 イ は ウ の成分で表され、計算によって緯度、経度、 エ に換算できる。 エ から標高を求めるためには、別に測量して求められた、準拠楕円体から オ までの高さが必要である。

	ア	イ	ウ	エ	オ
1.	地理学的経緯度	地心直交座標	X, Y, Zの3つ	楕円体高	地表
2.	地理学的経緯度	平面直角座標	X, Yの2つ	ジオイド高	ジオイド
3.	地心経緯度	平面直角座標	X, Y, Zの3つ	楕円体高	地表
4.	地理学的経緯度	地心直交座標	X, Y, Zの3つ	楕円体高	ジオイド
5.	地心経緯度	平面直角座標	X, Yの2つ	ジオイド高	地表